

男女平等参画について考える 日本女性会議 2017とまこまい



日本女性会議
男女平等参画について考える
2017とまこまい

2017.10.13 fri-15 sun

北の大地で語ろう これからの未来の一步を

私たちの長年の夢であった日本女性会議が、2017年苫小牧市で実現します。

1975年、国連総会で国際婦人年が発信されました。

国際婦人年は「平等・開発・平和」の理念を一人ひとりの心に響かせ、おしとどめられない世界の潮流の中に始まりました。その中で、女性たちの力が大きければ大きいほど実りも大きく、経済、政治、社会、文化等において将来への展望が明るく拓けることを思い、大いなる翔たきを願って、“女性年”を生かそうと出発しました。

そして、この“女性年”を契機として、1984年、日本の女性たちは“平等社会”実現のため、第1回日本女性会議を名古屋において開催し、苫小牧大会で第34回を迎えることとなります。

苫小牧市では、男女平等参画社会の実現のため、早くから人材の育成、関係団体の支援、活動拠点の確保などに努めるとともに、男女共同参画社会基本法に基づく行動計画を策定し、計画に基づく各種施策を実施して参りました。

そして、2007年には、男女平等参画推進条例を制定、2013年には、男女平等参画都市を宣言し、このたび、「日本女性会議2017とまこまい」を開催することとなりました。

苫小牧大会実行委員会は、「市民・団体の力+企業の力+行政の力=オールとまこまい」を合言葉に男女平等参画について考える大会を目指して、開催の準備を進めております。

全国から参加の皆様とともに、国が21世紀の最重要課題であると位置づける“平等社会の実現”に向けた課題を「思い・集い・願い」を込めて新たな一步を踏み出すために、そして、明るい未来を子供たちにつなぐために、この日本女性会議を実りあるものになりたいと考えています。

北の大地の“とまこまい”から、全国の皆様の参加をお待ち申し上げます。

日本女性会議2017とまこまい

実行委員長 高橋雅子

